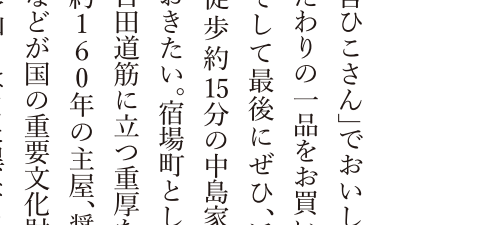
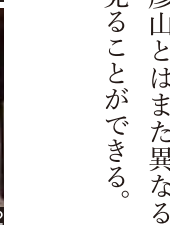




5 「道の駅 飲遊舎ひこさん」で売られている、手回ひまをかけて作られた添田町産の一味唐辛子と粉末ゆずごしょう。6 7 地元素材を使った加工品や調味料、新鮮野菜がずらりと並ぶ店内。8 当地サイダー「英彦山サイダー」230円と添田町の米を使った新商品の「米サイダー」250円。9 フォレストアドベンチャー受付横に残る、駅名標。10 「金の原」と呼ばれる添田の肥沃な土壌が育んだ野菜類が、道の駅の看板商品。



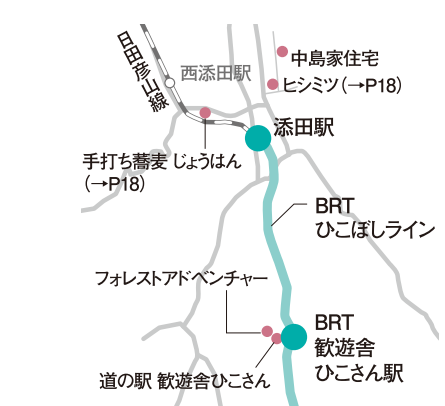
11 国指定重要文化財の中島家住宅。瓦屋根や大戸の黒と、真っ白に輝く漆喰壁のコントラストが目を引き、12 主屋の仏間と座敷。手前の仏間では明治時代に描かれた襖絵も見られる。13 酒蔵の中には、岩石山の伏流水を汲み上げていた井戸が残る。14 中島という名字は商売が繁盛した1860年代頃から使われ始めた。



大人気「道の駅」の裏山に フォレストアドベンチャー。

遊舎ひこさん」でおいしい野菜やこだわりの一品をお買いもの。そして最後にぜひ、添田駅から徒歩約15分の中島家住宅も見てください。宿場町として賑わった日田道筋に立つ重厚な商家で、築約160年の主屋、醤油蔵、酒蔵などが国の重要文化財に指定。英彦山とはまた異なる歴史を垣間見ることができます。

BRTひこぼしラインと、日田彦山線の列車が接続する添田駅周辺も面白い。もともと列車の駅でもあった「飲遊舎ひこさん駅」は、隣接する道の駅の名前が付けられている。今も駅名標やホームは残っていて、そこに2023年4月、「フォレストアドベンチャー・添田」が誕生した。自然の森の中にジップスライドや樹上に本格アスレチックコースを設けたレジャー施設で、子どもから大人まで楽しめる自然共生型アウトドアパークだ。全国に40カ所展開しているが、BRT駅から徒歩1分という好アクセスはここならではの。しかも、線路の上を歩いて森に入るといった経験ができるのも面白い。たつぷり森で遊んだ後は、線路を挟んだ向かいにある道の駅「飲



JR 添田駅から徒歩約 15 分

中島家住宅

中島家は江戸時代、ハゼの実から作るハゼロウ（和ろうそくや口紅の原料）をはじめ、醤油・酒などの商売で財を成し、名字帯刀を許された旧家。大規模保存修理工事を経て、当初の主屋や蔵の姿がよみがえり、2022年2月から一般公開されている。

☎0947-82-1236
(添田町商工観光振興課)
📍添田町添田 1860
🕒水曜～日曜の10:00～16:00
🕒月・火曜(祝日の場合は開館し水曜休館)、12/25～1/5
📄入館無料



BRT 飲遊舎ひこさん駅から徒歩約 1 分

道の駅 飲遊舎ひこさん

英彦山へ向かう観光客はもちろん、地元の方や飲食店を営む方も、添田の肥沃な大地で育った新鮮野菜を目当てに訪れる人気の道の駅。物産館では、惣菜や地酒、工芸品なども売られている。また屋外には、遊具が充実した「こどもわくわくパーク」も。

☎0947-47-7039
📍添田町野田 1113-1
🕒9:00～18:00
🕒1/1～3

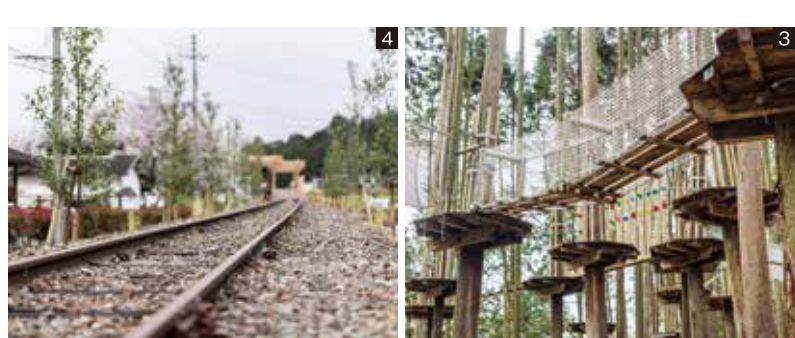


BRT 飲遊舎ひこさん駅から徒歩約 1 分

フォレスト アドベンチャー・添田

福岡県内3つ目のフォレストアドベンチャー。大人向けのアドベンチャーコースと、少し難易度を下げたキャンピーコースの2種類があり、ハーネスや事前練習もあるので安心。最長のジップスライドは125mあり、森の中を滑り抜ける爽快感は格別。

☎080-3975-4010 📍添田町野田 1288-3
🕒9:00～17:00(受付は15:00まで) 🕒なし
📄アドベンチャーコース1人3,800円、キャンピーコース1人2,800円



1 背の高いスキを使ったスリル満点のアクティビティを順番にクリアして楽しむフォレストアドベンチャー。付き添いの人も一緒に森に入って見守ることができる。2 子どもにも大人にも人気のジップスライド。3 アドベンチャーコースの所要時間は平均1時間半～2時間。4 ハーネスを装着して説明を受けたら、線路をたどって森に入る。

